

注意事項

- ・Macintoshでご利用の場合は、BHA社製『B'sCrewLite』でのフォーマット及びイニシャライズを推奨いたします。IDE接続時に保存したデータもSCSI接続時に利用可能ですが、ご使用の環境によっては読めないことがあります。その場合におきましてはイニシャライズをし直して下さい。
- ・Macintoshでご利用の場合、BHA社製フォーマットソフト B'sCrewでのフォーマット時にフォーマットオプションとして全体を0で埋める操作を行うと正常にフォーマット出来ません。これはSCSI変換回路にて、同等の操作をフォーマット時にハードウェア的にを行っていることに起因しているものです。そのためフォーマットオプションとして全体を0で埋める操作を行う必要はありません。
- ・ケーブルはハイインピーダンスSCSI-3対応のケーブルをご用意ください。それ以外のケーブルの動作につきましては保証致しませんのでご注意ください。
- ・SCSI-3規格において接続機器が3台未満の場合、ケーブル全長は3mまでとしてください。3台以上7台までの接続に関しましては、ケーブル全長は1.5mまでとしてください。これを超えるケーブルをご使用の際は、動作上不具合がございますのでご注意ください。
- ・CHB35INT 2は、省電力型HDDを対象に設計されておりますので、7,200rpm以上の高速型ドライブをご使用の場合、放熱等で問題が出る可能性があります。それに関する保証は対象外になりますのでご注意ください。
- ・UltraWideSCSI, WideSCSIに対応したSCSIアダプターカードを使用して本製品を接続する際は、SCSIカードのユーティリティで「ワイドネゴシエーションを無効」にしてご使用ください。ワイドネゴシエーションが有効のままでは正常に動作しないことがあります。
- ・本書に説明のないジャンパは工場出荷時設定用です。動作に支障を生じる場合がありますので、弊社の指示がない場合は設定を変更しないでください。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容については、将来予告なく変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4. 本製品はすべての機器に対して動作を保証しているものではありません。特定の機器（本体、または本体に増設した機器、インストールしたOSまたはアプリケーション）との間で生ずる製品の不具合につきましては、返品・交換には応じる事は出来ません。
5. 本製品の保証は、製品の直接購入者に限って適用される物です。他人に譲渡する事は出来ません。
6. 運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等に付きましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

【販売・サポート】

株式会社 センチュリー

サポートセンター

TEL 03-5818-7049(平日午前10時~午後5時まで) FAX 03-5818-8657
http://www.century.co.jp/ e-mail: support@century.co.jp

Century Corporation User's Manual

CHB35INT 2

INTERNAL CONVERTER KIT

取扱説明書



CENTURY

CHB35INT 2 rev.1 : 2000/10/18

はじめに

このたびはCHB35INT 2のお買い上げまことにありがとうございます。CHB35INT 2は、3.5インチE-IDEハードディスクドライブ()をSCSIハードディスクに変身させるキットです。本説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

対応ドライブにつきましては、弊社ホームページにてご参照願います。

<http://www.century.co.jp/>

対応ドライブはE-IDE規格に準拠したハードディスクドライブ専用となります。

お使いいただく前に

本製品を安全にお使いいただくために、以下の事項を必ず守ってください。誤った使い方をした場合、感電・怪我・火災・本製品ならびにコンピュータ本体等の故障原因となります。



組立・コンピュータへの取り付けの際は、必ず電源を切った状態で行ってください。



ほこりの多い場所・振動が激しい場所・湿気の多い場所または水気のある場所・油煙がかかる場所・冷暖房器具のすぐ近く などでは使用しないでください。



製品を濡らしてしまった場合は、感電や火災の危険があるため、そのまま使用せずに販売店または弊社サポートセンターへご相談ください。



煙が出たり、異常な臭いがしたりする場合は、ただちに電源を切り、SCSIケーブルも取り外してください。その上で、販売店または弊社サポートセンターへお問い合わせください。

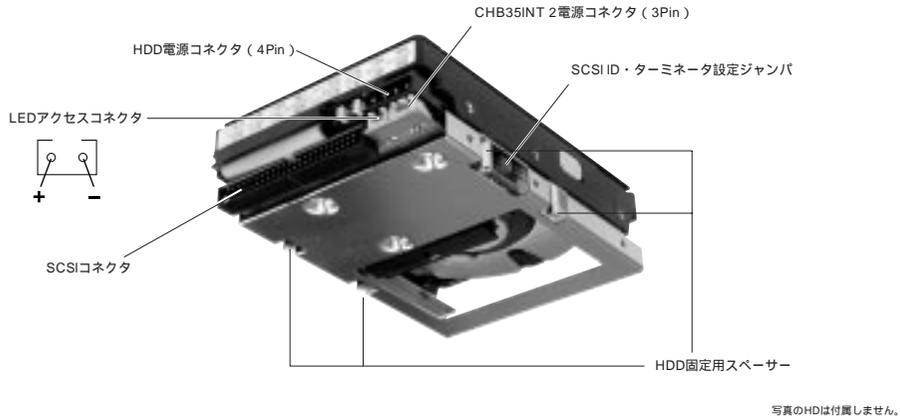


組立時・使用時は静電気にご注意ください。製品の誤動作や故障につながるおそれがあります。

製品内容

- ・CHB35INT 2 (基板 + HDD取付フレーム)
- ・HDD取付スパーサー (4本)
- ・IDEケーブル
- ・電源分岐ケーブル
- ・取付用ビス (4本)
- ・取扱説明書 (本書)
- ・保証書

各部の名称



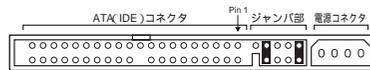
接続方法

- 3.5インチE-IDEハードディスクドライブ (以下 HDD) は必ずMASTERに設定して下さい (通常、新品のHDDはMASTERに設定された状態で出荷されています)。設定方法はHDD毎に異なりますので、HDDの説明書、HDDメーカーのホームページなどをご参照下さい。また、IBM製HDDは16HEADのマスターに、WesternDigital製HDDはSingleモードにてご使用下さい。以下が代表的なHDDの設定です。

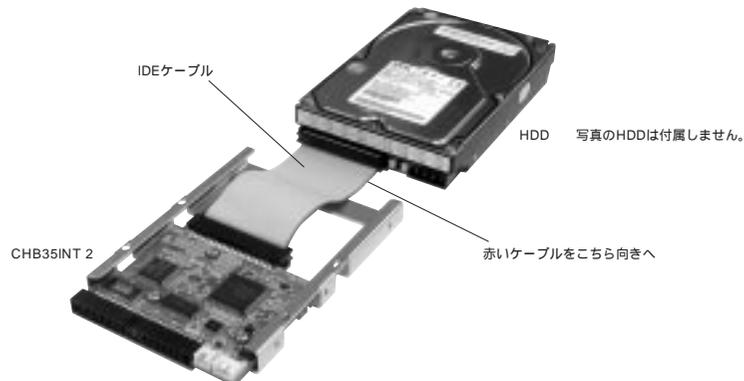
Quantum



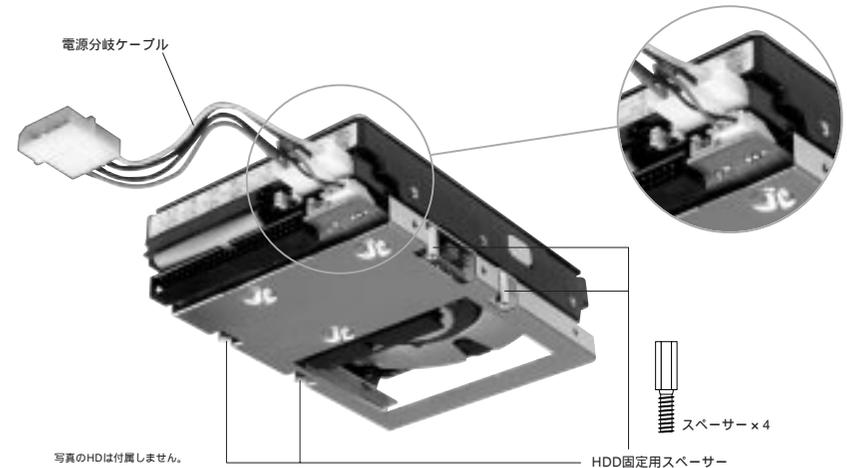
IBM (16HEAD MASTER)



- HDDに、CHB35INT 2本体から伸びているIDEケーブルをHDD本体へしっかりと接続します。このとき下図を参考に、ケーブルに着色されている赤い線の向きに注意して取付けて下さい。

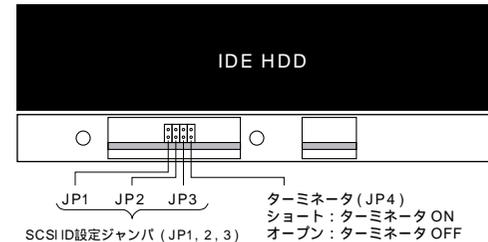


- 次にHDD本体をCHB35INT 2の上に乗せ、下からスペーサーで4カ所を固定します。その後、電源分岐ケーブルをそれぞれの電源コネクタへと、下図を参考に接続して下さい。



! 接続方向を間違えた状態で電源を入れるとHDDおよびCHB35INT 2が故障・発火する恐れがありますので、十分にご注意下さい。

- 最後に接続に間違いがないか、今一度ご確認ください。
- SCSI ID、ターミネータの設定を行います。設定はCHB35 2側面のジャンパーで設定を行います (表参照)。その際、リザーブには何も挿さないように注意してください。各ジャンパーの位置は下記の図を参照してください。



SCSI ID 設定ジャンパー表

ID	SW1	SW2	SW3
0	OFF	OFF	OFF
1	ON	OFF	OFF
2	OFF	ON	OFF
3	ON	ON	OFF
4	OFF	OFF	ON
5	ON	OFF	ON
6	OFF	ON	ON

JP4をSHORTすると、本機の内蔵ターミネータが有効になります。

本機が接続されたSCSI機器の一番最後に来る場合 (本機が終端になる場合) はJP4をSHORT (ジャンパーを挿してある状態) して下さい。

本機の後にさらにSCSI機器が接続されている場合は、JP4はOPEN (ジャンパーを挿さない状態) にして下さい。

! 設定は、必ず接続されたコンピュータの電源を切った状態で行って下さい。電源が入っている状態で設定を変更すると、故障の原因となります。